

昭和59年度 和歌山県文化功労賞

すず き ぜんじろう
鈴 木 善次郎

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：明治36年

◎業績及び経歴

大正10年和歌山中学卒業後、慶応義塾大学経済学部にすすみ、昭和5年同校卒業。三越百貨店に就職、昭和18年にブリヂストンタイヤに転職したが戦後まもなく退社。その後、絵画制作に専念する。

慶応大学在学中、友人4人と和歌山において、エトアール洋画会を創設する。又、東京では、南紀美術展に保田龍門、建畠大夢氏等と共に初回より出品するほか、第8回帝展、太平洋画会、光風会展、槐樹会展等に、入選入賞を重ねる。本県洋画壇の草分け的存在となる。

肖像画の分野では、日本を代表する画家として、政治家、財界人、俳優等1,500人にもものぼる肖像画を残し、日本肖像芸術協会名誉会員に推挙されている。

昭和40年から美術館友の会理事、昭和48年から同幹事を務めている。